

こうしていつの間にか楽しく六日間の講習を過し閉會式の時に代表の方の御禮の言葉を伺つて居ります時は何だかお名残惜しい心地で一ぱいで御座いました。

又附屬の先生方が此の講習中に間に合ふ様にミ大變な御骨折りで「系統的保育案の實際」をお作り下さつた事は講習員にまつて、それだけ有りがたい事であつたかミ存じます。地方に依り、幼稚園によつて異なりますから其のまゝ用ひられないにしても、丁度船の羅針盤の様に、一つの道を示していたゞいた事はそれ程心強い事がミ存じます。

## おみやげ話問答

A 講習のお話何ふのを楽しみに待つてゐましたの。お暑かつたでせう。

B え、去年よりもかなり、お遊戯の時なき随分暑くつて、なんせ六百人近くの人達でそのいきれだけでもね。でも愉快で暑さなどなんでもありませんでした。

A 第一日目は記念講演でしたのね。

終りにのぞみ講師の先生方及此の一週間の大勢の人々を何から何までかゆい所に手の届く様に御親切に御世話いたゞき、又前々から此の會の爲に色々御準備下さいました協會員の先生方に、厚く御禮申し上げます。さうぞ來年も又私共の爲に此の様なよい會をお開き下さいます様に切に御願ひ致します。

講習員の皆様もさうぞ御元氣で又來年も御上京なさいまして御一緒に學ばうでは御座いせんか、思ひ出るまゝに感想をのべまして。

## S · K

B そう、でもあんな差し支へで出られなくてミても残念でした。よいお話だつたさうですのに。その代り二日目は定刻二十分前から會場に馳せつけて朝の御飯急いで食べ來たこと後悔しながら鉛筆をミがらし、ノートをひろげて會橋先生の御講義を待機しましたの。

A 幼児の性情の涵養に就いてのお話ね

B え、一日目は四時間、幼稚園の目的云ふ簡條に示された言葉の内容に於て、この性情云ふところがどんな風に取り扱はれ又考へられるか云ふ様なこと、以前の幼稚園の規則の中には「善良なる習慣を養ふ」つてあるんでしたね。それが幼稚園令では「性情を涵養し」變つてゐる。

これが「心身を健全に」發達せしめ「云ふ自然主義的な方面」に對立してある所に法令としても完全さがある云つていい云ふ様なお話でした。心身の健全性を失つてゐるのであつたなら如何によき習慣を養つても幼稚園としての價値を失ふ……」

A 本當にそうく。外面的な形式的の習慣を與へて本質的な性情そのものゝ育くみを忘れてしまつては大變ですものね

B それから「第二性情云ふこと」云ふお話も深い意味の、よい御講義で私の口では上手にお話出来なくて残念「幼児の教育」誌上でお伺ひすることにして下さらない？

A まあ、うまくおにげになつて、も少し何かまきめて下さらなくては氣が濟みませんわ。

B 人間一生の性格教育をする爲に今（幼児時代）その情的要素、情的方面に重きを置いてする、さかう解釋してきうだらう。性格教育の爲の情的方面の教育、これは後になつて眞實に養ひ難い。感情の教育は幼児時代、自然の心身の發達と共にのみ育まれるを仰言るのをお聞きして色々考へさせられました。

A 私なんか幼児時代まつたくそんな周到な考への中に教育されることなしに來てしまつて、今になつては駄目ですのね。

B 倉橋先生のお話は相變らず深く、豊かで「空や」の最中が出ると思へば文樂の人形淨瑠璃が出る、ゆうべ小唄の勝太郎さんの處へ盜君がまかり出た云ふニュースまでビックアップしていらつしやる興味深さ、いくら睡眠不足の方でも……。

A 二日目は？

B 久留島先生と及川先生の手技、倉橋先生の御講義は三日目に四時間ありましたの。

幼稚園に於て幼児に與へる美云ふもの、それは幼児を

意識を概念からかけ離れた性情の世界に戻してやる最もよき力だとも仰言いました。私は自分の何を爲るにも離れぬ自己意識の強さを思つてつくづくいやになりました。せめて子供等には、あのお話を聞く時の顔に浮ぶなまの性情、そのまゝのよさを持ち續けさせ度いご考へました。幼稚園の朝の打水も幼児の相互教育の原理も亦この問題に直接のつながりを持つてゐるのですね。

A 倉橋先生が御不快で後の御講義はお休みだったのですつてね残念ね、もう御元氣で御活動のこゝでせうけれど。

B 本當に心配、御大事にして戴き度いと思ひますわ。

A 久留島先生のお話は？

B そんな方面でもその道のオーソリティーになる位の方は立派なものをもつてゐらつしやるのね。お話の技巧的な方面のこゝをお話なすつてもそれが單なる技巧ではないのね。

藝術的表現の所謂お話ばかりし様ませずに何でも話せご仰云いましたの。貴女がよくお庭の「玉ころ蟲」の話だのお魚の話だの上手に子供になさる、あれなんか本當にいゝお

話よ。

それから椅子の掛け方やら聲言葉、ヂェスチュア等に就いて具體的にお話して下さいました。

お話のすじも半忘れの様なのを子供にしたりした時の事を考へるご、その呼吸の充實してゐない話し方が子供を引き付けないのは當り前だと思ひましたの。

A その前科は私にもありますわ。善いお話を豊富に、そして確かに覚えて置くご、そんな處にも勉強の餘地がたくさんあるごをつくづく思はせられますご。

B 最後に、お話をする時「顎を引け」ご云ふご、これは先生が何十年かの御經驗で體得なすつたごなさうですの。顎を引くごが自然に姿勢を善くし落ち付きを與へるごになるのですつて。

A そうですのね。――

B それからこれが今度の手技。

A まあ！きれいな箱、あら、これあの包紙の上にかけてくれる平つたい紐ですのね、織紙の様なわけ？ でも少しむづかしそう。

B いゝえして見るに簡單、子供はきつゝ喜んで爲たがりますよ。女高師幼稚園では今年の御子さん達のアルバムの表紙にこれをお使ひになつたのですつて。それからこれは金魚と藻。

A こんな簡單な方法なのにとても立體的な味が出てゐますこゝ。この手を動かす太郎さん、鼻を動かす象さんも可愛らしい。子供がきても喜びさう。早速利用させて戴きませう。

B この鷺鷥と屋形船のお提灯もいゝでせう。いつもいつもあの切り目を入れて一寸つぶして置くあればかり拵へてゐる私が恥かしいこゝ。

及川先生が絶えず子供の遊び、手技に心を打ち込んでゐらつしやるこゝがこんな色々な手技をお生みになるのですね。この紐だつて私なんかたくさん機の引出に溜つても古雑誌でも括る時に使ふこゝしかしませんでしたもの。本當にもつゝ研究的に頭を使はなくては。

A 講習も只出してお話何ふこゝ云ふこゝだけでも勿論いゝですけれど、それをすつかり自分の中に消化してその後の

保育の總べてによい滋養分にしないで、講習で載いて来たものをそのまますつかり戸棚の中に仕舞ひ込んで置き、たまに食べ易い處だけ一寸味つて見る様なんでは駄目ね。

B 又貴方の皮肉が始まりさうだけれど實際さう。數は力なりつて人數の多いのはうれしいこゝですけれど少し積極的な受講態度が欲しいこゝ私は自分自身にさう思ひますの、そしたら去年の質疑應答も云ふあのよい機會にももつゝよく働きかけるこゝが出来たと思ひます。

A 遊戯を早速教へて戴きますわよい具合に涼しいし。B まあ仲々するいこゝ、講習に出ないで出たこゝ同じ効果を上げ様つてわけね、では二つ拍手する處は一つに二度廻る處は一度に割引して教へて上げ様かしらハ……

A 運動會にするのに何かいゝのありました。

B 啊ら、運動會だの何會だのに適するこゝ云ふのなら他の講習へ行らつしやい、こゝ云つてもどれも可愛らしいのですからみんななすつてもようございますわ。そう、此處の子供に適するの——これなんかよささう、ワタシノウウチハウミノソバつて云ふのね。メロデーにも歌詞にもわざとら

しいセンチメントが無くてすき。兎追ひ、高いたかい、今年

のぼたんなぎみな單純な遊びをリズム化したもの、この蝶  
蝶の曲は古いけれど綺麗ね、テンポを色々に變へてスキッ  
プにしたり早足にしたり靜かなステップを使つたりするこ  
面白くて樂器をきれいに弾けばそれ丈子供も氣分を出すで  
せう。コイヌだの舌切雀は可愛いし「ビョ〜／＼ヒョコ」は靜  
かで美しい、樂隊や兵隊さんは男の子が喜ぶでせう。小  
人の踊りは面白い表現ですし、ひなげしの花はこてもよい  
メロディーなんですけれど、こゝの子供には少し難しいで  
せう。あゝそれからこのオフネハギツチラコ、ポートルー  
スにあきた子供にも喜ばれさう、勢込んで床をたゞく子供  
の顔が見える様。

A 早く教へて戴き度いこ。

B 六日目倉橋先生の御講義の代りに女高師教授菅原教  
造先生のお話がありました。先生のお子さんのお小さい時  
からの繪をたくさんに見せて下さつてのお話座談的な氣易  
いお話でした。手を替へ品を替へ色々の材料を與へて準備  
し子供の畫心を引き出すこゝに努力なすつたこゝ云ふ御言葉

を心に留めて來ましたの。

A 私の方の子供の繪も四月新入期の時夏休み前では  
随分違ひましたけれどその違ひが本當によい發達に於てか  
どうか云ふこゝ氣に掛つてゐますけれど。

B 子供の繪のこゝ丈でも随分難しい、勉強しなくては  
ならないこゝばかり。

A ではこの遊戯の曲目お借りして参ります。

B ぎうぞ。その下のも御一緒にこのお風呂敷に包んで  
いらつしやいませ。この風呂敷。幼稚園令公布十周年記念會  
の爲にフレール館から講習會員一同に下さいましたの。

A この下の御本は女高師附屬幼稚園でお出しになつた  
「系統的保育案の實際」ですね。見たいと思つてましたの。

B 随分立派に出來てますよ。少しお話伺つたり、一寸  
半日のぞいて見るより却つてよく、あすこの幼稚園の保育  
が、そのアウトラインではありながら系統的に理解出来る  
様な氣持が致しますの。ぎうぞごゆつくり御覽になつて頂  
戴。

A 「さようなら」、「さようなら」